



学校だより

令和5年4月28日

No. 2 5月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

「まち」のよさに気付く経験や体験

校長 金子 博美

新緑の若葉にすがすがしさを感じるころとなりました。ポプラの木の葉も一層茂り、その葉を空に向けて伸びようとしているように見えます。新年度が始まり、あっという間に一か月がたちました。少しずつ新しい環境に慣れ、子どもたちの笑顔も増えてきたように感じられます。

さて、みなさん、この写真は、ある生き物の幼虫ですが、その生き物は何だと思えますか。(ヒント：飛びます 光ります)
・・・そうです、これはホタルの幼虫です。



先日、岸根町の「そばの陶芸館」代表の高橋さんから、用水路にホタルの幼虫を放流するというご連絡をいただきました。そこで、4年生が参加させていただくことになりました。約100名の子どもたち一人ひとりが放流する経験ができるよう、幼虫を透明カップに入れて準備していただきました。その、幼虫の写真です。

放流当日は天気も良く、子どもたちも学年で初めての校外学習にとってもわくわくしている様子でした。ホタルの幼虫を初めてみる子も多く、「(成虫のホタルと)全然違う」「じっと見ると、かわいい」などその反応は様々でしたが、みんな興味津々でした。



カップをもって用水路の脇まで降りると、高橋さんが教えてくださる通りに一人ひとりそっと幼虫を水の中に放ちました。「すぐに(土に)もぐっちゃった」「あれ、見えなくなっちゃった」とそれぞれに驚いたり不思議に思ったりしたことをつぶやきながら、無事に約200匹の放流に成功しました。幼虫たちは、5月末頃に飛び出してくるそうです。

子どもたちは、貴重な体験をすることができました。今回の経験によって自分たちの「まち」を見る目も変わってくるはずです。早速、家族といっしょに放流した場所へ様子を見に行った子もいると聞きました。放流後、新聞にまとめる学習にも取り組んでいる子どもたち。地域とのかかわりによって、子どもたちの見方や考え方が広がることをあらためて実感しました。

「まち」と地域と連携する教育活動もようやく取り組みやすくなってきました。今後も大切にしていきたいと考えています。次の朝会では、全校に向けてこの活動を紹介しようと思っています。



【「そばの陶芸館」の皆さん】
ありがとうございました